

アートNPOリンク

会員団体情報



特定非営利活動法人

アーツイニシアティブ トウキョウ

Arts Initiative Tokyo, Non Profit Organization

代表者：塩見有子

住所：150-0033 東京都渋谷区猿樂町 30-3 ツインビル代官山 A-502

Tel：03 5489 7277 Fax：03 3780 0266

E-mail：office@a-i-t.net

URL：http://www.a-i-t.net/

活動趣旨

NPO法人アーツイニシアティブ トウキョウ(AIT)は、東京を中心としたさまざまな場所に、現代の視覚芸術にアクセスするための「プラットフォーム」を創出していきます。

「プラットフォーム」とは、AITが企画、実現していくさまざまなプログラムで、アートに興味のあるすべての人が立ち寄れる場です。

20世紀は、社会の急激な変化とともに、芸術表現が実に大きな変化を遂げた時代でした。人々の創造的な活動は、それまでのジャンルの壁を崩し、従来の制度を支えてきた美術館やギャラリーだけでは、けっして捉えきれない多様性を帯びてきているといえます。国境や高度資本主義の限界が明らかになった今日、芸術はけっして「混乱」や「終焉」を迎えているのではなく、情報テクノロジーや移動手段が発達した時代に対応していく新しいシステムを必要としています。そこで、私たちは、軽やかにフレキシブルに、個人や企業、財団、文化機関などと連携しながら、活動することを目指します。

活動内容

プログラムⅠ：エデュケーション・プログラム「MAD」

開催場所：AIT ルーム(代官山)

対象者：キュレーションに興味のあるアーティストやアート・マネージャー、海外留学を考えている方、美術と社会を繋ぐアート・エドゥケーター、現代アートの歴史を学びたい方、自分の作品を客観的に見つめ直す機会を持ちたいアーティスト等

MAD(Making Art Different=アートを変えよう、アートを違った角度で見てみよう)は、現代アートに関する見識を広めるためのエデュケーション・プログラムです。現代アートに携わる多数のゲスト講師による多角的なアプローチを通して、現代アートを広く深く読み解きます。2008年は、キュレーション・プラクティス、キュレーション・ベーシック、アート+コミュニケーション、マガジン、アーティストの基本コースに加え、集中講座やデイトム講座を開講します。

プログラムⅡ：AIT レジデンシー・プログラム

開催場所：東京など

対象者：国内外のアーティスト、キュレーター

国内外の団体や財団や基金と連携しながら、アーティストやキュレーターを東京に招聘、又は海外に派遣するプログラム。滞在場所や情報・資料の提供、トークの開催など、様々な支援活動を通じて国際交流の促進を図ります。2003年の事業開始から昨年までに、海外からアーティスト25名、キュレーター4名を東京へ招聘し、日本人アーティスト7名を海外へ派遣しました。

プログラムⅢ：エキジビション・プログラム

開催場所：東京都内、沖縄県那覇市など

アーティストや企業、財団などと提携しながら、展覧会を企画します。一例として、2002年より「時間限定美術館」プロジェクトとして、従来の美術館に収まりきれない表現や価値を考える場作りを、継続的に行ってきました。2004年、2006年に都内各所で時間限定美術館を開館、2006年秋には沖縄に巡回し、多様な価値観を体験できる場として成果をあげました。



特定非営利活動法人

ART NPO TACO

代表者：信田英司

住所：780-0056 高知県高知市北本町 4-1-23 菓工倉庫

Tel：088 878 0051

E-mail：taco@xf.moo.jp

URL：http://info.taco.moo.jp/

運営施設：蛸蔵

活動趣旨

もっともっと楽しい高知をつくるために。

私たちの暮らす高知県は、人の数こそ少ないけれど、純粹に高知で楽しく生きようという人、もしくは高知を楽しんでいるという人たちが溢れています。大きな海と豊かな山を抱くこの地域には、新しいものを生み出させる力がどこかに秘められているのかもしれません。

ART NPO TACOは、アートを媒介に人と人とが結びつき、楽しいコトが自然と起きるような地域をつくることに目標に設立しました。土蔵を改装した「蛸蔵」では、展覧会やトークセッションなどの自主事業を柱に、演劇等への貸出を行なっています。また、「高知遺産」や「きんこん土佐日記」など高知にまなざしを向けたローカル本を出版する「蛸の本。」プロジェクトでは、県内在住の消ゴムはんこ作家の作品集を2007年暮れに発行しています。

今年からは中山間部の棚田を活用したアートプロジェクトにも取り組む予定です。

活動内容

プログラムⅠ：ホリカワアートミーティング 2007

開催場所：高知市文化プラザかるぼーと

対象者：広く一般市民

県内外で活動する作家によるアートフリーマーケット「かるぼいち」を中心に、県内外で活躍する作家によるさまざまなジャンルのワークショップを開催。また、松山を中心に活動するヤミーダンスによるワークショップと「kNewman」の公演、会場のすぐ目の前を流れる堀川でのカヌーツーリングなどを展開し好評を得ました。さらに、土佐ならではの食材である鯨カツを使った幻の「菜園バーガー」も開発販売し、長蛇の列となりました。

プログラムⅡ：書籍「きんこん土佐日記」の制作・販売

開催場所：高知新聞社との共同出版

高知新聞夕刊連載中の四コマ漫画「きんこん土佐日記」を制作販売。第三巻まで発行済みで、総部数は15,000部近くと地方出版物としては異例の部数を記録。

特定非営利活動法人 アート NPO ヒューマンシアター

代表者：陣内広和
住所：510-0045 三重県四日市市蔵町 2-9
Tel & Fax：0593 54 5680
E-mail：artnpo@ybb.ne.jp
URL：http://homepage.mac.com/humantheatre/

活動趣旨

私たちは、あらゆるジャンルの芸術家や社会貢献を目指す各分野の団体とのネットワークを構築し、芸術活動に参加を希望する全ての市民に対し、社会に開かれた創造活動に関する事業を実施します。

特に「芸術と社会の関係性」を重視し、新たな関係構築を図りつつ、芸術文化振興を柱とした社会貢献によって、芸術活動の価値と本質の実証を目指します。

活動内容

プログラムⅠ：舞台制作事業「AQUA」

開催場所：平成21年度は東京・三重で8公演を実施予定
対象者：ジャンルを越えたアーティストのコラボレーションの場ともなっており、舞踊家×音楽家のセッションによって作品を構築

「産業と環境」「人と自然」の共生をテーマとし、「工業都市」から「文化都市」へと変貌する未来の四日市を舞台作品で形にしています。

プログラム2：人材育成活動と独自メソッド構築

開催場所：市内公共施設、所有するスタジオにおいて定期的にワークショップ・クラスレッスンを実施。

対象者：独自メソッドにより次世代アーティスト育成を推進
演劇・舞踊・音楽のクロスポイントとなる共通基礎と内発性に重点を置き、外観模倣に陥ることなく主体的な表現ができるアーティストを輩出するため、独自の「ヒューマンシアターメソッド」を考案。約20年間の研鑽によるメソッドの効果は国内外のアーティスト、教育関係者にも認められている。また独自メソッドのブラッシュアップ作業は、スタッフの育成やコラボレーションを円滑に推進するための下地となるなど、二次効果も生み出している。

■ワークショップ：折原美樹氏（マーサグラハムダンスカンパニー）によるグラハムテクニックを中心に、第一線で活躍するプロアーティストによるワークショップを定期的に実施。

プログラム3：アウトリーチ活動

※独自メソッドの検証とプロアーティストとの触れあい

教育機関との協働：平成19年度四日市市民活動ファンド助成事業として、中学音楽教諭を対象とした研修会にてワークショップを実施。また市内中学校で全校行事としてワークショップを実施。本年度は体育教諭も対象として実施予定。

障害者支援団体との協働：第12回みえ県民文化祭公募事業の一環として開始。舞台芸術を享受する市民層の拡大を目指し、障害者の可能性、その魅力を引き出す取り組みとしてワークショップを実施。

環境団体との協働：芸術作品の「伝える力」を活かすため、地域的課題を「AQUA」上演により啓蒙している。脚本の資料となるデータを提供していただき、作風にも助言をいただきながら相互交流を深めている。

プログラム4：ボランティアスタッフ育成事業

平成18年度四日市市民活動ファンド助成事業として開始。テクニカル・マネジメントの2チームに分かれそれぞれの専門スタッフが指導。市民層が舞台芸術・プロアーティストに触れ合う機会になると共に、市民目線からの活動に対する意見を集約できる貴重な場ともなっている。

特定非営利活動法人 アートネットワーク・ジャパン

Arts Network Japan Inc.

代表者：市村作知雄
住所：170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 にしすがも創造舎（旧朝日中学校）
Tel：03 5961 5200 Fax：03 5961 5207
E-mail：anj@anj.or.jp
URL：http://anj.or.jp/
運営施設：にしすがも創造舎・川崎市アートセンター・大倉山記念館

活動趣旨

NPO法人アートネットワーク・ジャパン（ANJ）は、芸術文化の活性化および国際文化交流の促進を目的とするアートNPO法人です。芸術の社会的な力を取り戻すために国際的視野を持って、東京国際芸術祭の開催や[にしすがも創造舎][川崎市アートセンター]などの文化施設の企画・運営を中心に、さまざまな芸術文化に関わるプロジェクトを実施。さらに世界のアーティストや諸外国の芸術機関との連携を図りながら、国際的なネットワークの構築も行っています。

活動内容

プログラムⅠ：東京国際芸術祭（TIF）の主催

開催場所：にしすがも創造舎特設劇場、他
毎年2-3月に開催される舞台芸術のフェスティバルです。2008年の開催で14回を迎えました。日本の舞台芸術の新たな展望を模索し、国際的視野に立ったプログラムを展開する芸術祭として、海外作品の招聘や国際共同製作、地域で活躍する劇団を紹介するリージョナルシアター・シリーズなどのほか、TIF08では参加型アートプロジェクトやシンポジウムも開催いたしました。

プログラム2：にしすがも創造舎の運営

豊島区文化芸術創造支援事業の一環として、04年8月に開設したアーツベースです。廃校になった校舎と体育館をそのまま利用し、稽古場として継続的に専有できるスペースを提供しています。「創造から発信の場」として劇場としても活用し、また地域の方々とのアートによる交流プロジェクトも開催しています。

プログラム3：川崎市アートセンターの運営

（財）川崎市文化財団と共に、指定管理者として管理・運営を行う文化施設です。“芸術を創り、育て、楽しむ”センターとして、小規模ながら広さ十分の舞台と観やすさを追求した「アルテリオ小劇場」、ユニバーサルで多様な映画・映像空間として画期的な機能を備えた「アルテリオ映像館」のほか、映像編集室、コラボレーションスペースなどの多様な施設を備えています。



ART LAB OVA
ART LAB OVA

住所：231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 3-13 大島ビル 5F
Tel：070 6565 3241 Fax：045 263 0811
E-mail：artlabova@dk.pdx.ne.jp
URL：http://artlabova.org（工事中）
運営施設：ART LAB OVA 13 坪のアートセンター

2008年1月12日（土）～2月17日（日）
時間：10:00～15:00



オーバのメルマガ登録サイト
http://groups.yahoo.co.jp/group/artlabova-magazine

へんてこかわいいオーバのブログ
http://plaza.rakuten.co.jp/artlabovagoods/

おでかけアート展覧会日記
http://plaza.rakuten.co.jp/odekakeart

むせかえる世界基金ブログ
http://musekaeru.exblog.jp/

まげまげまげちゃん・ちゃんまげまげまげちゃんブログ
http://magetyon.exblog.jp/

近江八幡お茶の間ランドブログ
http://ochanomart.exblog.jp/



**特定非営利活動法人
あおもりNPOサポートセンター**
Aomori NPO Support Center

代表者：田中弘子
住所：030-0801 青森市新町 2-6-25 奈良屋ビル 2 階
Tel：017 776 9002 Fax：017 776 9003
E-mail：info@anpos.or.jp
URL：http://www.anpos.or.jp

活動趣旨

アーティストが運営するアートプロジェクトであり非営利のグループとして1996年に活動開始。横浜桜木町のアトリエや音楽スタジオ、ギャラリーのほか、カフェ、パーティー、ライブラリー、勉強会など、その時々に応じたさまざまなメニューを用意した多目的なアートのスペース『13坪のアートセンター』を拠点に、出張ワークショップや、展覧会 などのアートイベントも開催しています。

2000年～2006年、イセザキモール+マリナード地下街+馬車道商店街の商店にしょうがいのある人の作品を展示する「—しょうがいのある人と商店街がつくる まち—おでかけアート展覧会」を企画。

2006年、市民の手で現代美術作品の展示を成立させ鑑賞するために、展示会場を探し、ボランティアや寄付金を募る実験的なプロジェクト「むせかえる世界基金」を設立し、ダムタイプや黒沢美香&ダンサーズとしても活動している砂山典子氏の衝撃作「むせかえる世界」を、横浜美術館グランドギャラリーに展示。

2008年1月近江八幡のお宅やお店、職人の工房などのインテリアを借りてきて、古い民家を改造したミュージアムをそのまま「お茶の間ランド」化する『「近江八幡お茶の間ランド」にちょっと寄ってくれはらへん?…ふつうの町のキュートな日常…』展を開催。

現在は、定期的に、異色パフォーマー手塚夏子とその愛息3才児とともに実験カフェを開催したり、ディープ横浜の代名詞「野毛」の都橋商店街の Snackbar で、ホームレスのアーティストいちむらみさことバーを開くなど、ART LAB OVA は、まちの狭間で「場」や「出来事」に関わっています。

活動内容

**プログラムⅠ：「近江八幡お茶の間ランド」に
ちょっと寄ってくれはらへん?
…ふつうの町のキュートな日常…**

開催場所：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

対象者：近江八幡の人たち

近江八幡の一人暮らしの高齢者、福祉施設に居住するしょうがい者、醸造醤油屋、荒物屋、くつ職人の工房などの「お茶の間」を通じて、ふつうの町の「今」を考察する。

近江八幡お茶の間ランドブログ <http://ochanomart.exblog.jp/>

プログラムⅡ：コジキヤル・バー「ばる美」

開催場所：都橋商店街内スナックはる美（横浜市野毛）

対象者：会社員など

ホームレス・アーティストいちむらみさこをスナックのママにむかえ、寿町のカレーをお通しにするなど、安い飲み屋街に集う会社員たちとホームレス文化について語り合う。

**プログラムⅢ：名画座フィリピン化計画
「フィリピン・カフェ@黄金町」**

開催場所：シネマジャック&ベティー

対象者：フィリピン人など

横浜最後の名画座シネマジャック&ベティーでフィリピン映画が上映されるのをきっかけに、映画館の一部に廃棄物を利用してフィリピン風屋台 sarisari ストアを建て、近隣のフィリピンマーケットの商品を販売し、フィリピン人と交流するパーティーを開催した。

活動趣旨

1999年、県内最初の特定非営利活動法人として、あおもりNPOサポートセンター（ANPOS）はスタートしました。NPOが持つ新しい日本社会の可能性を、私たちの北東北青森で花咲かせるためにつくられた、ネットワーク組織です。「NPOのためのNPO」として、市民にむけた啓発活動、NPOの支援とネットワークづくり、調査研究や政策提言を主な活動としています。「社会のために本当に役に立つことをしたい」「やりがいのある仕事したい」とお考えの行政・企業・ボランティアグループ・市民の皆さん、ANPOSと一緒にNPOの風を！ANPOSはあなたの夢をかなえるためにいろいろな事業を実施します。

活動内容

プログラムⅠ：キッズカレッジあおもり07

開催場所：青森市

対象者：小中学生

「キッズカレッジあおもり07」は子どもと保護者が共に参加し、「知」と「情」を共有することで、家族という「社会」を認識します。さらに、参加 家族で1つのテーマを持ち、制作分担することで、個々人の共生という認識にまで高めることを目的とします。1つのスキルを通して「自己」を認識し、共に学ぶことで「社会性」を培っていく、このことを講座の根底に据え、プロジェクトを展開していきます。



特定非営利活動法人
淡路島アートセンター

代表者：久保拓也
住所：656-0025 兵庫県洲本市本町 8-4-II
Tel：090 5066 4604 Fax：0799 22 3322
E-mail：contact@awajishima-art-center.jp
URL：http://awajishima-art-center.jp

特定非営利活動法人
S-AIR(エスエア)

NPO S-AIR
代表者：柴田 尚
住所：062-0901 札幌市豊平区豊平Ⅰ条 12 丁目Ⅰ-12
インタークロス・クリエイティブ・センター ICC-401
Tel：011 820 6056 Fax：011 820 6057
E-mail：info@s-air.org
URL：http://www.s-air.org
http://sair.exblog.jp/

活動趣旨

「島」という海に囲まれた淡路島は自然の豊かさに恵まれ、人々の生活や気質コミュニケーションは島固有の風土や風習に守られてきました。

私たちの島ではアートを語らなく、アートを必要とせずとも、十分に生活は豊かなものです。橋が開通して淡路島は陸続きとなったものの島は島のまを保っています。行き来する自由度は増しては来ましたが、まだまだ精神文化面で自由があるとは言えず、心の選択枝や考えの自由度を増していく必要性を感じます。そうすることで、自然豊かな風土に益々住み心地が増していくと考えます。決して特別でも難しいものでもなく、自分の視点を持ち、イメージを具体的に手段こそ「アート」にあると考えます。

NPO法人淡路島アートセンターは、淡路島に暮らす人々が探求的に生きていくために「コミュニティーの拠点となり」、個人の世界観を広げ、淡路島の伝統を重んじながら、心豊かな生活と島民としてのアイデンティティーを育んでいくことを目指していきます。

活動内容

プログラムⅠ：イカと釣り人
開催場所：淡路島全域、洲本市民工房
フィッシングダイアリー(伊藤存・大西伸明・中瀬由央)が島の「エキスパートの釣り人」と釣りをし、その時行われた全ての会話、独り言をそのまま文字化、本にするプロジェクトの第一弾。これを10年間継続することで釣りを通じて伝えられる、「淡路島に生まれ、住み、共にあることを綴った記録」になると考えている。

プログラム2：日の出亭
開催場所：兵庫県淡路市 日の出亭
台風による土砂崩れに巻き込まれ発見された空き家。仕方なく始めた掃除から様々な関わりが生まれ、現在もリノベーションを行っている。今では、移動キッチンや猫足のバスタブまで設置され、レジデンス機能も充実してきた。かつて料亭として営まれた空間でカフェ、作品展示、パフォーマンスなど様々なイベントを開催した。

プログラム3：ログズギャラリー(濱地 靖彦・中瀬由央)
ガソリンミュージック&クルージング in 淡路島
開催場所：淡路島島内各所
車内に高出力の音響システムを搭載した車(シトロエンXM-X)で行なう、より走行音(車の走行に伴い発生するエンジンやウインカー、風の音などのこと)を強調したドライブパフォーマンス。このドライブではそれらの走行音をマイクで採取し、エフェクトを施して増幅させる。
淡路島では計5回のドライブを行った。

活動趣旨

ICCとの共催でアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を主に行う。

1999年の実行委員会設立から、07年度終了までに、9年間で25カ国・63名のアーティスト招聘実績(AIR事業・プロジェクト含む)がある。特に近年の創造拠点交流事業では、海外のアートセンターやアーティストとのネットワークを形成している。

そのほかにも「アートあけぼの04-05」「アーティスト・イン・スクール03-07」など別施設、小学校を使用するAIR関連事業運営を行う。また、AIR事業とは別に、コンサートやワークショップ、アート・プロジェクトの企画運営も通年業務としている。現在では、海外とのネットワークを活用し、ローカルアーティスト支援を目的として、毎年2名のローカル・アーティストの海外派遣事業を06年度より開始。

将来的には海外および国内におけるアート・アクティビティの調査活動をふまえ、札幌にふさわしい機能的な「アート・センター」案を提案し、開設することを目指す。

活動内容

プログラムⅠ：ICC + S-AIR 創造拠点交流事業
開催場所：インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)
ほか、市内中心部
対象者：市民とローカル・アーティスト
アーティスト・イン・レジデンスを主軸にした市民交流事業。4名の招へいアーティストごとに、作品制作から展示までを行う。2名のローカル・アーティストを交流のある海外のレジデンス組織に派遣。

プログラム2：SNOWSCAPE MOERE
開催場所：札幌市立モエレ沼公園
対象者：市民
さっぽろ雪まつりに代わる「冬の芸術祭」をアーティストの手で再構築するための実験サイト。2005年から毎年テーマを決め実施している。冬、雪といった地域資源の活用について、検討するオープン・ディスカッションの場としても機能する。

プログラム3：アーティスト・イン・スクール
開催場所：札幌市内および、全道
対象者：事業受け入れ小学校の児童、職員、保護者
小学校の空き教室を一時的にアーティスト・スタジオとして活用する交流プログラム。現在は、AISプランニング(漆崇博・福村ななえ)が現場のコーディネート、参加アーティストごとのプログラムの企画運営を行う。



特定非営利活動法人 STスポット横浜

ST Spot Yokohama

代表者：曾田修司
住所：220-0004 神奈川県横浜市区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル B1
Tel：045 325 0411 Fax：045 325 0414
E-mail：mail@stspot.jp
URL：http://www.stspot.jp
運営施設：ST スポット

中野成樹＋フランケンズ「暖かい氷河期」（2006年）
撮影：飯田研紀

活動趣旨

STスポット横浜(旧:STスポット運営委員会)は、1987年11月横浜市が開設した「STスポット」の運営団体として、ボランティア市民により組織されました。以来、公設民営劇場の新たなモデルとして、創造活動の推進、情報サービス提供、ネットワーク構築などを行い、舞台芸術の底辺を広げ、多くの若い才能を輩出しています。2004年6月、広い意味で芸術振興を担う非営利機関としてNPO法人化し、新たな活動も開始しました。同年「アート教育事業部」を設置し、神奈川県・神奈川県教育委員会と協働して、子どもの健全育成・アートの普及を行い、横浜市が推進する「創造界隈づくり」では、2004～06年「BankART 1929」の運営に参画、2006年からは創造拠点「急な坂スタジオ」をNPO法人アートネットワーク・ジャパンと共同で運営しています。

STスポット横浜は、舞台芸術を中心としたアートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともにアートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出するために、次の活動を行います。■次代のアーティストを発掘し、成長を支援します。■多様な価値を創造する表現や、新しい発想の作品の創造を支援します。■アウトリーチやレジデンシープログラム、他の芸術機関との連携に積極的に取り組むことで、地域の中でアーティストや観客が育つ仕組みを作ります。■多様な市民参加のあり方を提案し、劇場とコミュニティとの繋がりを深めます。■国内外の芸術文化活動を調査研究し、劇場や文化事業のあり方を提案します。■地元および国内の芸術文化に活力を与え、今日的な意義を見出すパイロット的な芸術機関として新しい方法を追求します。

活動内容

プログラム1：劇場運営(STスポット)

横浜市内最小の劇場ながら、県内屈指のアクティブな劇場。1987年の開館以降、STスポットは地元演劇と国内コンテンポラリーダンスの創造拠点として機能しています。

プログラム2：芸術文化事業の企画運営

アーティストの育成支援を軸に、■契約アーティスト制度(演劇、ダンス、ジャンルを問わず、若手作家の育成とステップアップの長期的な支援プログラム)、■DANCE SERIES(次代のダンスクリエイターの発掘と育成を目的としたステップアッププログラム)、■提携企画(自主的な創造活動をサポートする公募企画)などによって、公演やワークショップなどを実施します。

プログラム3：エデュケーション(アート教育事業部)

2004年から神奈川県・神奈川県教育委員会との協働事業として「アートを活用した新しい教育活動の構築事業」を開始。子どもたちがアートを通して生きる力と共感する心を自ら発見するために、アーティストによる授業実施、教育関係者への普及事業、調査研究及び人材育成、フォーラム等、アート教育に特化した事業を展開しています。



特定非営利活動法人 大阪アーツアポリア

NPO Osaka Arts-Aporia

代表者：中西美穂
住所：552-0021 大阪府大阪市港区築港 2-8-24 piaNPO305 号
Tel：06 6599 0170 Fax：06 6599 0170
E-mail：info@artsaporia.org
URL：http://www.artsaporia.org

© osaka arts-aporias

活動趣旨

アーティスト、アートマネージャー、研究者らによるアートプロジェクト。2006年3月まで大阪市港区の築港赤レンガ倉庫を拠点とし、現在は、アジア初の大規模な国際交流・国際協力NPO(非営利組織)の拠点施設piaNPOに事務所を構え、国内外のプロジェクトに取り組んでいます。近年、芸術表現はますます実験的な性格を帯びてきています。しかし芸術を取り巻く環境は、消費と市場的な価値に結びついたものを優先させるため、現代の実験的な芸術表現にとって決して相応しいとは言えません。こうした傾向は都市においてより顕著です。アーティストや研究者は実験的であることよりも消費されることを考慮し、優先させなければ、その表現活動を継続させることが難しい状況にあります。既存のシステムに拠らない価値観を提案する実験的な性格の強い芸術表現は、都市の活性化や多様な生き方の創出に積極的に貢献します。ここに、都市におけるまちづくりと現代芸術振興の意義を見いだすことができます。大阪アーツアポリアは、アーティストおよび研究者が自らの意志により現代芸術の表現活動を深めることが可能な環境づくりを行い、それを通じてまちづくりに貢献することを目指します。

活動内容

プログラム1：アーティスト@夏休みの病院

開催場所：大阪市立大学医学部附属病院
対象者：長期入院の子どもたち
夏休み期間中に長期入院している子ども達といっしょに、地元の若手アーティストが共同制作を行う大阪市立大学附属病院との協働事業。毎回ボランティアを募り研修を行うことで、活動が継続していく工夫をしている。

プログラム2：アート・プロジェクト・ガイド「銅」

開催場所：大阪アーツアポリア事務所、ウェブサイト、ワンワールドフェスティバル、他
対象者：アーティスト、研究者等
海外のアートプロジェクトを調査して壁新聞にする大阪市との協働事業。今までにドイツやスウェーデン、フィリピンなどの現代的なアートの取り組みを取り上げてきました。2008年1月現在で10号発行。今後も継続。

プログラム3：ビッグビッグバンド

開催場所：アサヒビール吹田工場、海遊館ホール等
対象者：プロ・アマチュア問わず楽器演奏に興味のある方
プロの音楽家と公募で集まった参加者、総勢100名による大オーケストラ。各人の能力と興味にあわせてハンドキューやカードサインを用いながら即興的に演奏を行います。

特定非営利活動法人

記録と表現とメディアのための組織[remo]

[remo]/record, expression and medium - organization

代表者：甲斐賢治

住所：533-0033 大阪市東淀川区東中島 4-4-4 もと東淀川勤労者センター

Tel&Fax：06 6320 6443

E-mail：info@remo.or.jp

URL：http://www.remo.or.jp

活動趣旨

我々の祖先は他者とのコミュニケーションをはかるため、ボディーランゲージから言葉・文字などにはじまる情報伝達のためのさまざまな工夫、発明、開発を行ってきました。15世紀の活版印刷の発明で情報はより速く拡散し伝搬する力を増し、電話を代表とする電気通信技術を経て、さらにはテレビの誕生により、私達はリアルタイムに膨大な情報を得ることとなりました。現在では映像音響機器、コンピューター、インターネットなどを用いて個人レベルで情報を記録、編集制作、発信することが可能となっています。しかし、現代生活に溶け込んでいるメディアには一方的に発信される市場開拓を目的としたものが目立ちます。こういったいわゆるマスメディアと呼ばれるものの動向は、本来の人間のコミュニケーションツールとしての『メディア』の機能を狭めているのではないのでしょうか。個人とメディアという1対1の関係においては、目的に縛られないより多様でフレキシブルなありようが見られます。そしてそこで発せられる表現には、芸術性や国際性を伴う時代を超えた情報が含まれているかもしれません。この組織では、特に近年目まぐるしい発展が見られる映像や音を用いた「個人を発信源とする表現」に注目しています。これらは、具体的なメッセージや物語でないことが多く、既存の装置(テレビ、映画館など)では取扱いきいものであるためにビジネスとしては成立し難い状況にあります。しかし、そのことは「個人を発信源とする表現」に価値がないということを示しているわけではないと考えます。今後、これらの表現がどのように社会的価値を持つこととなるのか、また人々が個々にメディアを用いる中で本来のコミュニケーションという営みに相応しい動向をみせることとなるのか 一私達は新たな表現活動のフィールドを開拓するために、改めて『メディア—媒介—』を介した表現を見つめ直し、さまざまな課題を探りつつ研究・実験・開発・実践の有機的循環を重視した活動を行います。

活動内容

プログラムⅠ：artist pick up

開催場所：remo 他

対象者：広く一般

現代美術の分野における映像表現に焦点をあて、従来の映像文法を超えた新しい表現を紹介。モニターやスクリーンでの上映や空間全体を使ったインスタレーションなど、国内外の多様な表現を通して、そのメディアの持つ可能性について考察するための拠点づくりを行う。

プログラムⅡ：AHA(アハ)!

【Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ】
対象者：フィルム所持者、地域住民

個人によって記録された8mmフィルムやビデオ等の映像メディアや、それにまつわるパーソナルな記憶を、社会的・知的な文化財産と捉え直し、それらを収集・公開・保存・利用する一連の仕組みづくりを推進するデジタルアーカイブ事業。現在、依頼のあるご家庭に映写機と映写技師を派遣する「出張上映会」や DVD変換、公開鑑賞会という形式で展開。

プログラムⅢ：remoscope ワークショップ

対象者：小学生から高齢者まで

[remoscope]とは、remoが考案したリュミエール・ルール【無加工/無編集/最長1分/固定カメラ/無音/ズーム無し】に則り撮影されたビデオ作品群を総称する造語です。それぞれの視点で撮られた映像(remoscope)を撮影し、鑑賞、談義する…いわば“句会”のような形式で行われるワークショップ。

特定非営利活動法人

芸術家と子どもたち

Children meet Artists

代表者：堤 康彦

住所：170-0001 東京都豊島区西巢鴨 4-9-1 にしすがも創造舎(旧朝日中学校)

Tel：03 5961 5737 Fax：03 5961 5738

E-mail：mail@children-art.net

URL：http://children-art.net/

活動趣旨

多様な価値観・考え方・身体感覚を持つ人々が、互いを尊重しながら共に暮らす社会を創出するため、子どもたちとアーティストとの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会をつくりだす活動をしています。この活動を通して、子どもたちが社会を生きる力を育み、さらに、子どもを取り巻く大人たちに対しても日常や社会を新たな視点でみつめるきっかけを提供したいと考えています。学校教育における「エイジアス」、地域コミュニティにおける「アクション」、2つのフィールドで活動を展開しています。

活動内容

プログラムⅠ：エイジアス(ASIAS)

開催場所：小学校・中学校・幼稚園・保育園など

教育・保育の現場

対象者：各開催場所の子どもたち

小学校、中学校、幼稚園、保育園など学校教育や保育の中で子どもたちとアーティストとの出会いをつくりだす活動。

- アーティストによるワークショップ型授業の企画・実施
- 先生を対象としたアーティスト・ワークショップの企画・実施

プログラムⅡ：アクション(ACTION!)

開催場所：にしすがも創造舎ならびに周辺地域

対象者：乳幼児、小学生、中学生、地域住民

豊島区の閉校校舎を再利用したアトスペース「にしすがも創造舎」を拠点に、子どもたちとアーティストの出会いをつくりだし、家族・地域住民など子どもを取りまく大人たちも含め、普段出会う機会のない人同士が、出会い、交流する場をつくりだす活動。

- 親子を対象としたアーティスト・ワークショップ、プレイスペースの企画・実施・運営【親子のための「ギロンと探偵のいる2年1組」】
- 子どもたちとアーティストがパフォーマンス作品を創作し公演するプロジェクトの企画・実施【NEC×ACTION! 子どもとつくる舞台シリーズ】
- 子どもたちとアーティストが地域資源を活用しながら地域コミュニティの再生を図るアート・プロジェクトの企画・実施【アサヒ+ ACTION! 子どものいるまちかどシリーズ】
- 植物の栽培をテーマに家族内、家族同士の交流を図るプロジェクトの企画・実施【Greeting Greens 〜グリーグリ〜】

その他

- 子どもと向き合う大人を対象としたワークショップの企画・実施
- 子どもの教育とアート、地域コミュニティなどをテーマとしたシンポジウムの開催

特定非営利活動法人

芸術資源開発機構 [ARDA]

NPO Art Resources Development Association

代表者：並河恵美子

住所：168-0082 東京都杉並区久我山 5-23-2

Tel：03 3334 7876 Fax：03 3334 7876

E-mail：infoarda@arda.jp

URL：http://www.ar-da.jp

高齢者ホームヘアート・デリバリー

関野宏子のワークショップ“ふわふわ壁画をつくるう！”

特定非営利活動法人

C.A.P.(芸術と計画会議)

代表者：杉山知子

住所：移転中(4月以降に確定)

E-mail：caphouse@cap-kobe.com

URL：http://cap-kobe.com/

活動趣旨

芸術は個人が人間らしく生きるために欠くことのできない社会的な役割を持っています。

私たちの活動は芸術という資源を開発して、その新しい可能性を社会に活かすことを目的としています。

同時代に生きる人間が直面している諸問題を、さまざまな視点から、芸術活動を通して共に考え、新しい方向をさぐる。ARDAは、一人ひとりが自分らしく、心豊かに生きられるコミュニティの創造と、社会の実現を目指します。

活動内容

プログラム1：子どもふれあいアート

開催場所：港区 I5 公立保育園

対象者：保育士と就学前の園児

杉並区内で7年間継続している「児童館・学童クラブヘアートデリバリー」の活動が基となり19年度は港区から依頼を受ける。保育園にアーティストが出向き、保育士講座(事前)と別の日に園児にワークショップを行う。ダンス、音楽、造形のジャンルで日常を超えたアーティストのワークショップは刺激的で園児に新しい発見がある。また、働く現場でアート講座を体験できると好評である。

プログラム2：児童館・学童クラブヘアート・デリバリー

開催場所：杉並区内の児童館

対象者：開催児童館へ集う子どもたち

それぞれ違った視点を持つアーティストを児童館へ派遣。年齢や学校が異なる子どもたちが、学校という枠から解放された放課後を創造の自由時間とする。

プログラム3：高齢者ホームヘアート・デリバリー

開催場所：杉並区特別養護老人ホーム上井草園／

至誠ホーム スオミ

対象者：入所者と介護士(上井草園) 入所者(スオミ)

アーティストを高齢者施設へ派遣して創造の時間を共有する活動を1999年より開始。高齢社会で人間の心の問題をアートが介在して生きる力を見出している。アーティストが真摯に向き合うことで関係性が変わる。介護する人される人ではなく、一人の人間として対等であるとの認識が芽生え、施設の雰囲気も変化。今後、この活動を通して福祉施設から地域へ芸術発信できるプログラム作りを行いたい。

プログラム4：絵本カーニバル・片山健の絵本の世界

開催場所：川口市立アートギャラリー・アトリア

対象者：一般の大人と子ども

ARDA活動の一つに「アートプロジェクトの企画・運営」がある。2007年夏、川口市より、企画・運営を受託。ギャラリー側がセレクトした作家の作品展示とワークショップ、印刷媒体のデザイン、コーディネートを行った。

プログラム5：働く方のためのジョイフル教養講座

「アートソムリエ入門」

開催場所：産業商工会館(阿佐ヶ谷)

対象者：ビジネスマン&ビジネスウーマン

財団法人杉並区勤労者福祉協会が区内在住・在勤の勤労者を対象に教養講座をNPOに公募、第2回目となる。〈アートソムリエ〉と称して活躍中の山本冬彦氏を講師にアートの見方、買い方、楽しみ方を学ぶ連続講座を企画、1時間のレクチャー後、銀座の画廊を巡る。

活動趣旨

芸術活動とは、限られた時間で計られる効率や成果だけで評価することはできません。それは、あらかじめ存在する価値を流通させるのではなく、価値そのものを生み出し、新たな価値基準を問いかける活動だからです。現代社会において、多くのものが短期的な経済効果や付加価値の有無によって価値判断されていますが、芸術活動はそのような価値体系で簡単に判断されるものではないはずです。

今の社会において、美術館やホールなど、芸術作品の発表のための「場」はすでに存在しています。しかし、私達は、芸術とは完成された作品を鑑賞するだけのものではなく、芸術家の考え方や、作品の完成に至るまでのプロセスをも芸術活動ととらえます。また、それら芸術は生活の中で息長く育てていくものであり、発表の「場」としての美術館やホールだけでは、多様な活動に充分に対応できないと考えます。今、芸術活動やその試みは新たなもう一つの「場」を必要としています。

私達は、社会的な機能として、芸術を媒介に職業、年齢、性別、国境などの境界を越えてあらゆる人々が集まり、対話し、意見交換ができる場を持つということが重要だと考えます。さらに、この意見交換を通してさまざまな人が深く芸術を探究し、またその可能性を広げ、かつその可能性に形を与え実現させる事が重要ではないでしょうか。1994年よりその必要性を日々感じている芸術家が集まり、任意団体としてさまざまな活動を行ってきましたが、今までの実績を基にさらに活動を充実させ継続していくことが、芸術を社会に広く浸透させ、芸術に触れ親しむ人たちの可能性を開き、真の豊かさを育んでゆく社会の創造に寄与する事であるとして、2002年4月、NPO法人C.A.P.を設立いたしました。

活動内容

プログラム1：CAP HOUSE プロジェクト

開催場所：CAP HOUSE

対象者：アートファン、市民

アーティストの集まり、C.A.P.ののうち、CAP HOUSEです。アーティストが制作しているアトリエのドアはいつでもオープン。いつでも遊びにきて下さい。展覧会やワークショップ、コンサートもあります。旧神戸移住センターを利用した主催事業です。美術家を中心となり推進し、資金は企業や個人の賛助者からの支援が中心となっています。この事業をはじめて8年目になります。継続してきたことで信用や認知、芸術文化だけでなく様々な領域でコミュニケーションが広がってきています。

プログラム2：リュックサックプロジェクト3

開催場所：CAP HOUSE / リムリックシティーギャラリー
(アイルランド)

対象者：アートファン、市民

アイルランドの美術家たちと2年間準備してきた、アイルランド/日本の美術家交換展覧会です。7月には6名のアイルランド人作家がCAP HOUSEで、9月から10月にはCAP HOUSEの作家等がアイルランドで展覧会を行いました。作家たち自身が行き来することで、プレゼンテーションやアーティストトークなど、作品の展示に留まらない幅の広いコミュニケーションが実現されました。

特定非営利活動法人

こえとことばとこころの部屋(ココルーム)

A Room full of Voice, Words & Heart

代表者：上田假奈代

インフォショップ・カフェ ココルーム：557-0001 大阪市西成区山王 1-15-11

Tel&Fax：06 6636 1612

アートスペース・ココ：533-0033 大阪市東淀川区東中島 4-4-4 もと東淀川勤労者センター

Tel：080 3824 1657

E-mail：cocoroom@kanayo-net.com

URL：http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

運営施設：インフォショップ・カフェ ココルーム、アートスペース・ココ

活動趣旨

・表現と実践＝「こえ」

表現とは、意志による能動精神の活動であり、情報にあふれる現代社会において、人間存在の意味を知るきっかけとなります。そして、その実践は人間が現実へ飛び込むことができるよう勇気と責任を獲得するものとなります。わたしたちはこの経験を自ら行ない、またその環境づくりにつとめます。

・伝達と探求＝「ことば」

ことばは光りです。存在に対する広くて深い認識の経験をもつことばによって、有効に伝達されていきます。現代において、コミュニケーション・対話の重要性は言われていますが、何に重点をおくかを考えるとき、現実生活のなかでの意識の領域を拡大して用いることばへの探求が重要であると考えます。ことばによって確認され、行為にひきつがれてゆくことに注力して、わたしたちは活動します。

・自立と自律＝「こころ」

変遷する時代の推移とともに、「表現」とはもっとも根源的に「生」にかかわる任務であると考えます。これらのいきいきとした活動を通して、思考を深め自身の人生に対する態度として、自立・自律を確立していきます。未来にむかって展開させていくための自立・自律を、わたしたちは活動の軸とします。

活動内容

プログラムⅠ：大阪市就業支援モラル事業アートによる包摂型就労支援

開催場所：フェスティバルゲート内ココルーム他

対象者：就業困難者

表現やアートを媒介として、就業困難者へのコミュニケーションの下支えと、ゆるやかな繋がりを作ることを主眼に置いている。今年度は長年就労支援に取り組んできたプロフェッショナルと協働し、当事者が社会に入っていく流れをつくっていく。また、他団体とのネットワーク化により、社会的なセーフティーネットの機能を強化する。

プログラムⅡ：大阪市 NPO からの公募提案型委託事業アートによる若者エンパワメント事業

開催場所：フェスティバルゲート内ココルーム他

対象者：社会的に孤立しがちな若者

ニートやフリーターなど、社会的に孤立していく若者が増えている。硬直した心や身体をアートの活動によってときほぐし、コミュニケーションを重ね、自分の考えや思いを表現することで社会を肯定的に受け入れ、他者へのまなざしを育んでいく。トークサロンや社会体験プログラム、ワークショップを開催し、社会に対して積極的に関わるための足がかりをつくっていく。

プログラムⅢ：現代芸術創業事業こたね事業

開催場所：フェスティバルゲート内ココルーム他

対象者：一般

他者との間に立ち上がる記憶の物語をつむいだり、場所の記憶に耳を澄ますというプロセス、手法に注視したプロジェクト。さまざまなジャンルの表現者達が地域の住人の聞き取りを行い、テキスト化し朗読する「こころのたねとして」。子どもたちと大きな地図を作り、絵や詩を書き込むワークショップ「あしたの地図よ」を実施した。

特定非営利活動法人

国際芸術文化センター

代表者：大森あき子

住所：556-0003 大阪府大阪市浪速区恵美須西 3-3-26

Tel：06 6636 9590 Fax：06 6636 9581

URL：http://www.s-w-l.co.jp/iacc

活動趣旨

社会の影で飽和状態になっている創造欲求のエネルギーを当団体の活動により指導したり、表現する場を与える事によって負の方向に表現されるのを防ぐと同時に確立されたアートへと導いてゆく。そして最終的にはそれらを求める社会へと開放すること目指しています。



特定非営利活動法人 国際サーカス村協会

International Circus Village association

代表者：西田敬一
住所：376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1
Tel：0277 70 5010 Fax：0277 97 3688
E-mail：circuske@m16.alpha-net.ne.jp
URL：http://circus-mura.net/

活動趣旨

サーカスの学校や資料館などを設け、国籍や年齢を問わずサーカス・アーティストやクラウン、あるいはそれを志す人たちが生活を共にしながらサーカス芸術村を創造し、国内でのサーカス人気復活・発展を図るという、いわば“サーカスというひとつの文化(アート)とともに生きる村”のことです。

日本におけるサーカス・アーティストが一生を過ごすことのできる故郷として、いわばサーカスの芸術村を目指すと同時に、世界の国々と、サーカス交流を通して国際的な文化交流を試み、次世代へサーカス文化そのものを継承することを国際サーカス村の理念としています。

活動内容

プログラムⅠ：マールイ・サーカスの一日

開催場所：沢入国際サーカス学校・体育館、渋谷区児童会館

対象者：子どもから大人まで

沢入国際サーカス学校創立満7年を記念した、本格的なサーカスショー。

プログラムⅡ：

開催場所：沢入国際サーカス学校・体育館

対象者：子どもから大人まで

さらにクレードアップしたサーカス技をお見せできるとしています。



子どもとアーティストの出会い

Kids meet Artists

代表者：井手上春香
住所：604-8222 京都府京都市中京区観音堂町 466 みやこ 3F
Tel：090 6731 8598 Fax：075 231 8607
E-mail：idegami@arts-staff.net
URL：http://kodomodeai.exblog.jp/

TOA Music Workshop2007
～もっとひらいて!もっとはずんで!～

活動趣旨

アートによって豊かな教育環境をつくりだすこと目的に、小中学校や児童館など子どものいる現場にアーティストを派遣し、ワークショップによる教育活動のサポートを行っている非営利団体。2004年4月、トヨタ自動車株式会社とNPO法人「芸術家と子どもたち」との協働企画「トヨタ・子どもとアーティストの出会い2004 in京都」開催を契機に京都で発足しました。現在は小・中・高等学校の授業におけるアーティストのワークショップのコーディネート、アーティストによる子ども向けワークショップの企画・制作、教員や保護者を対象とした教育現場とアートの関わりを考えるための研究会の開催などを行っています。

事業内容

アーティストのコーディネート：小・中・高等学校にアーティストがかけいき、学校の先生と連携して実施するワークショップ型授業のコーディネートを行います。体育や音楽の時間、総合的な学習の時間を利用して、数日間の授業から長期間の取り組みまで、学校の先生とアーティスト、事務局が話し合い、さまざまな形の授業を実施します。

アートワークショップの企画：児童館や文化施設などで、職員の方と連携して子どものためのアートワークショップを企画・運営します。担当職員の方と事務局が現場のニーズと目指す文化環境について話し合い、協力してプログラムを企画・運営していきます。

研究会等の開催：アートと教育現場の関わりについて関心を持つ教職員、アーティスト、文化施設の教育普及担当者、NPO職員、学生、地域の方が話し合う機会を設け、アーティストとともに行う教育活動の可能性について探っていきます。

活動内容

プログラムⅠ：TOA トライやる・ウィーク 「港島ミュージック・サーカス」

開催場所：ジーベックホール(神戸市)

対象者：中学2年生

「トライやる・ウィーク」は中学2年生が地域で1週間の職業体験を行う活動。受け入れ企業のひとつであるTOA株式会社では、自社ホール「ジーベックホール」で、プロの音楽家と子どもたちがワークショップを行い、最終日に地域の方を前にコンサートを開く。

プログラムⅡ：TOA Music Workshop 2007 「もっとひらいて!もっとはずんで!」

開催場所：ジーベックホール(神戸市)

対象者：小学1年～6年生、中学2年生

「音楽に触れる喜び、音楽で表現する楽しさ」を学んでもらうことを目的に行う、小中学生向けの音楽体験プログラム。学校単位で参加しやすいプログラムづくりを目指す意図から、短時間(2時間完結型)、多人数(最大200人)で実施。本年は、ジャワガムランやアジア・アフリカの民族音楽を中心に展開した。

プログラムⅢ：トヨタ・子どもとアーティストの出会い

開催場所：札幌・群馬・愛知・大分

対象者：小・中学生

トヨタ自動車株式会社の社会貢献プログラム。全国各地で子どもを対象としたワークショップ、教育関係者やアート関係者を対象としたシンポジウムを開催している。当団体は各地の実行委員会のコーディネート及び事務局運営を担い、小・中学校等でのワークショップ活動の普及、コーディネーターの育成を行っている。

特定非営利活動法人

コミュニティアート・ふなばし

CommunityArt FUNABASHI

代表者：下山浩一

住所：273-0005 船橋市本町 4-40-23

Tel：090 9101 1974

E-mail：PXZ06005@nifty.ne.jp

URL：http://www.communityart.net

活動趣旨

千葉県船橋市を拠点として活動するアートNPO。

1997年より先鋭的アーティストと市民のコラボレーションによるコミュニティアートプロジェクトを企画・運営しています。

地域・年齢・ライフスタイル等で分断されるコミュニティ間の断絶と摩擦を緩衝するコミュニティアートの企画・運営により地域社会に貢献することを目的として活動しています。

アートNPO相互の自助ネットワークづくりを重視するとともに、商店街、大学等さまざまなセクターとの協働による新しい形のコミュニティアート・プログラムを開発しています。

活動内容

プログラムⅠ：千葉クリエイティブ・クラスター

開催場所：千葉県内各所

「千葉クリエイティブ・クラスター」(略称:CCC)は、千葉県内のコミュニティ拠点相互の人材交流を促進することにより、地域の創造活動の“つなぎ手”の情報力・ネットワーク力を高め、ソーシャル・キャピタルを増大させる基盤整備プロジェクトです。

参加アーティスト:あらら。、門脇篤、Nam HyoJun

アサヒ・アート・フェスティバル2007参加企画

プログラムⅡ：アートプロジェクト「雲と緑のつなぐまち」

開催場所：船橋市本町通り商店街、船橋駅前東通りほか

対象者：市民一般、地域 NPO

現代アーティスト・門脇篤による商店街との協働プロジェクト。船橋市本町通り商店街の商店を、住民がつくった“葉っぱ”でつなぎ、船橋駅前東通りの公園では、東鳴子で作成した“雲”が上空に浮かび、人々の気持ちを大きなネットワークでつないだ。

協賛：船橋市本町通り商店街振興組合、船橋駅前東通り商店会

プログラムⅢ：ふなばし・アートマネジメント・コミュニティ

開催場所：ステーキハウス・ヒロキほか

対象者：市民一般、アートマネジメントに興味を持つ学生

地域で活動するアートNPOによる、「ネットワーク型文化リーダー育成プロジェクト」。アートによって地域課題を解決する「コミュニティアート」、アートと地域をつなぐ「アートマネジメント」を中心に、首都に隣接した中心市街地における文化芸術活動を長期的な観点に立って主体的に進めることができる文化ボランティアのコミュニティを形成する。

文化庁委嘱「平成19年度文化ボランティア推進モデル事業」

特定非営利活動法人

コンカリーニョ

Con Carino

代表者：斎藤ちず

住所：063-0841 札幌市西区八軒Ⅰ条西Ⅰ丁目 2-10

Tel：011 615 4859 Fax：011 615 4866

E-mail：info@concarino.or.jp

URL：http://www.concarino.or.jp

運営施設：生活支援型文化施設コンカリーニョ
ターミナルプラザことにパトス

活動趣旨

札幌市西区琴似・八軒界隈を拠点に「まちとアートをむすぶ」劇場づくりを目指し、劇場ハード設計・資金確保からさまざまな文化プログラムを立案・運営しているアートマネジメント団体。1995年から7年間運営した同名の小劇場フリースペースを原型に、その発展的な活動と地域の豊かな特色づくりを、アート関係者と住民との集合体で創造している。

2002年都市開発計画によるフリースペース活動の一時休止後、劇場再建のためにハード設計、再開発組合との折衝、資金調達などを行い、2006年5月に「生活支援型文化施設コンカリーニョ」として、再オープン。志縁によるアートコミュニティと地域コミュニティを“つなぐ”ことによって、地域活性化、世代間交流を促進し、都市型コミュニティの再構築を目指し、芸術文化活動や地域活動に関わっている人や団体と幅広く連携しながら、芸術文化の振興を図り、コミュニティ形成や教育・福祉等多分野にわたり、芸術文化を活用する事業を企画提案、遂行する。

活動内容

プログラムⅠ：遊戯祭 07「死ぬ気で遊ぶ～中島みゆき論～」

開催場所：コンカリーニョ、パトス

対象者：道内劇団、市民一般

札幌小劇場演劇の祭典。参加団体には、人気、実力ともに脂ののった札幌の劇団、演出家を揃え、劇団の実力向上、観劇人口の増加を含めた札幌演劇界の成熟を目指し、テーマを設定した連続上演で、創作者には競い合う楽しさと観劇者には見比べる喜びを提供する。07年度参加劇団千年王国、ff男盛りレコーズ、yhs、intro。遊戯祭最優秀賞は劇団千年王国「ファイト！」が受賞し、08年度コンカリーニョ本公演権を獲得する。

プログラムⅡ：

指輪ホテル(東京) [EXCHANGE]公演とワークショップ

日韓競作 チョヨン劇場(ソウル) vs. Water33-39(札幌)「授業」

環境警察 2208in 札幌 [共催:NPO 法人フリンジシアタープロジェクト(京都)]

Meets2007 札幌福岡演劇交流プロジェクト [共催:NPO法人FPAP(福岡)]

JCDN「踊りに行くぜ! vol.8」

日本演出者協会「演劇大学 2007in 札幌」

開催場所：コンカリーニョ、パトス

対象者：市民一般、市内表現者

拠点をフル活用し、道内外の芸術活動団体との協働により、地元アートシーンに対する刺激と発掘、育成を目指し、様々なプロジェクトを行う。

プログラムⅢ：温故知新音楽劇づくり事業

開催場所：コンカリーニョ、パトス

対象者：地域住民

札幌市内でも古くから入植が始まり、独特の歴史と住民自負の高さを持つ地域の特徴を活かし、地域の歴史に取材し、住民が参加する創作音楽劇づくり事業。2005年度「とんでんがえし琴似浪漫」、2006年度「琴似新劇団物語」、2007年「オシャレな果実」。地元町内会、商店街等の期待と応援も大きい。

2007 年度助成支援：

■財団法人アサヒビール芸術文化財団 NPO 助成

■財団法人セゾン文化財団現代演劇助成

■平成 19 年度文化庁芸術拠点形成事業



特定非営利活動法人 札幌室内歌劇場

Piccoal Opera di Sapporo

代表者：浅里慎也
住所：005-0016 北海道札幌市南区真駒内南町 4-3-5 ハイム桜ヶ丘 306
Tel：011 588 4738 Fax：011 588 4739
E-mail：info@opera.or.jp
URL：http://www.opera.or.jp/

活動趣旨

札幌室内歌劇場は、日本における理想的なオペラ芸術の姿を提案し、理解と共感を得られる演奏・上演活動を通して、市民に豊かな音楽文化環境を提供することで、オペラ芸術と地域社会の発展に寄与することを目的とします。そのため、「歌劇の公演」「音楽演奏会・講習会・鑑賞会の開催」「音楽理論及び技術に関する研究とその成果の発表」「音楽文化交流に関する事業」を行います。
また、芸術に対する市民のアクセスの補償のため、アウトリーチや、ワークショップにも力を注いでいます。

活動内容

プログラムⅠ：オペラ公演

開催場所：札幌市内公立ホール
対象者：一般市民

プログラムⅡ：児童のためのオペレッタワークショップ (指導受託)

開催場所：札幌市教育文化会館
対象者：小学校児童～中学生

プログラムⅢ：ボランティアコンサート

開催場所：市内健康保険施設など
対象者：健康保険施設利用者

プログラムⅣ：音楽理論公開講座

開催場所：札幌市内公共施設
対象者：一般音楽愛好家、教育者、演奏家



C-プランニング・フラノ

C-Planning Furano

代表者：篠田信子
住所：北海道富良野市上五区
Tel：0167 39 0280 Fax：0167 39 0280
E-mail：f945ns@furano.ne.jp

活動趣旨

10年前より富良野において、演劇文化を通して元気な街にしたいと市民が活動をはじめた。全国第1号でNPO認証をうけ「ふらの演劇工房」がスタートした。
同時期に公設劇場「富良野演劇工場」を受託し公設民営で毎年黒字経営をしてきた。コアメンバーが疲弊して、組織が尻つぼみになる事が無いよう役員交替もしてきた。
ただ役員を退いた人たちは、その後もNPOや劇場をバックアップして行くことには変わりはない。各人が違うフィールドを持ちながら文化芸術の浸透をはかっている。
このふらの演劇工房で10年間活動してきたが、新たなフィールドで活動を始めた一つが「C-プランニング・フラノ」である。「C」は子供・文化・創造・地域・鎖・会話の英語の頭文字である。
これらにこだわりながら、文化の裾野が広がる企画やコーディネートを行い、ふらの演劇工房をバックアップしながら「文化の香るまち富良野」を目指す。
任意の団体になり資金面の模索をしていた時、地元企業が文化事業の支援を申し出てくれた。富良野でメセナが実現した。人口2万5千人弱街で実現した事は大きな弾みになっている。フラノデリス・メセナ事業の運営も手がけ、19年度より事業を開始している。
フィールドを変える事により新たな展開が出来た事も、富良野は10年の間に文化的に大きく変化できたのだと感じる。

活動内容

プログラムⅠ：秋山仁&あべ弘士弘の愉快的実験室

対象者：小中学生・一般
大自然の中で子供達に数学の楽しさを伝えたいと言う秋山仁と、旭山動物園の飼育係から人気絵本作家になったあべ弘士の楽しいコラボレーション。

プログラムⅡ：中井貴恵の朗読「あらしのよるに」

開催場所：富良野演劇工場 [2008 年 4 月 13 日(日) 14:00～]
対象者：幼児～大人
絵本の楽しさ、朗読の楽しさを子供達と共に楽しむ。

プログラムⅢ：第2回 富良野・森の朗読 10 分間劇場

開催場所：富良野演劇工場 [2008 年 9 月 26 日(日)]
対象者：一般
市民も舞台に立ち表現する楽しさを体験する。プロアマを問わず一人持ち時間10分で朗読をする(必ず音楽を使用する)。
昨年開催し大好評を博した。



特定非営利活動法人

ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

Japan Contemporary Dance Network

代表者：佐東範一

住所：600-8092 京都市下京区神明町 24I オパス四条 503

Tel：075 361 4685 Fax：075 361 6225

E-mail：jcdn@jcdn.org

URL：http://www.jcdn.org/

活動趣旨

ダンスは言葉や道具を使わずに、自分自身の身体を使って表現しコミュニケーションするという他の芸術にはない特徴を持っています。“自分を見つめる力”、“自己表現力”、“他者との関係性を創る力”、これらがダンスを形創るための大きな力です。これらの力は同時に、人間が生きていく上で不可欠な“生命力”である、とも言えるのではないのでしょうか。

これからの日本の社会を考える上で、新たなる“生命力”を育てていくこと、それが現代社会において求められていることであり、ダンスの持っている力なのです。ダンスの持っている力を社会の中で活かしていくこと、子供から老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創ること、そのための環境を創ること、それがJCDNの使命です。

同時に、ダンスアーティストの作品発表および活動が、アーティストの住む地域だけではなく、全国的に広がっていくための制作的サポートを行うこと、それがダンスの環境を創る上で必要不可欠なことであると考えております。JCDNはダンスの環境を創っていくとともに、日本における芸術のあり方を変革していく運動体＝アーツサービスオーガニゼーションを目指します。社会とダンスを結ぶ接着剤として機能していきたいと思います。

活動内容

プログラムⅠ：踊りに行けぜ！！

開催場所：

国内巡回(2007/vol.8)全国 21 会場：札幌 / 弘前 / 仙台 / 前橋 / 東京 / 茅ヶ崎 / 静岡 / 多治見 / 栗東 / 大阪 / 淡路島 / 鳥取 / 広島 / 山口 / 松山 / 高知 / 福岡 / 佐世保 / 大分 / 宮崎 / 沖縄

アジア巡回(2007/vol.1)4 カ国 5 都市：マレーシア・KL /

タイ・バンコク / フィリピン・マニラ / インドネシア・ソロ、ジャカルタ

対象者等：全国・アジアのダンスアーティスト、主催者、各地の観客等

「踊りに行けぜ！！」は2007年、ついにアジアに飛び出しました。今回集めた各国のダンス関係者とのつながりを更に発展させ、今後アジア諸国からの出演者が、アジアの各都市を巡回するシステムを創ります。また、vol.8となる国内巡回公演では、従来ソロ〜トリオに限っていた出演者枠を拡大、カンパニーの参加が可能に。かねてから要望のあった海外アーティストも加わり、国内外にて更なるネットワーク形成を目指しています。

プログラムⅡ：DANCE×MUSICⅠ

開催場所：山口情報芸術センター、京都芸術センター

対象者：ダンスアーティスト、音楽家、各地の観客等

既存の音楽を使用するダンス作品もよいけれど、せっかくなら“今”を生きている振付家と音楽家が会って、“今”にしか出来ない作品を創ったほうが面白いのでは？そんな想いで2004年にスタートした本企画。2007年 vol.3では〈鈴木ユキオ[金魚]×辺見康孝〉、〈yummydance ×トウヤマタケオ楽団〉が新作を創作・発表します。

プログラムⅢ：全国各地での企画・制作協力、

コーディネート事業

開催場所：佐世保・沖縄・京都・福岡等

対象者：各地域のダンスアーティスト、オーガナイザー、各地の観客など
各地の状況をふまえたダンス企画をコーディネート。本年は、アルカス SASEBO、沖縄県立博物館・美術館主催のクリエーション・ワークショップをコーディネート、参加者による作品は「踊りに行けぜ！！」の上演作品として発表されました。また、京都芸術センター主催「京都ダンスプロダクション」、福岡市文化芸術振興財団主催「波に乗れ！！ダンス波」の企画制作協力等多数。

SENDAlcompleX

SENDAlcompleX

代表者：村上タカシ(美術家・アートプランナー)

住所：980-0873 仙台市青葉区広瀬町 4-8-1808

Tel：070 6970 1976 Fax：022 221 4111

E-mail：mmix@mac.com

URL：http://blog.livedoor.jp/sendaix/

アート学生こたつ会議 2007

活動趣旨

東北仙台ゆかりの美術家やクリエイター、芸術文化関係者による緩やかなネットワークを活かしクリエイティブな情報を共有し活動していくSENDAlcompleXを2005年3月に立ち上げる。

文化施設やまち、行政、大学、NPOなどとも連携し創造的な芸術文化環境を創ることをミッションとしている。

活動内容

プログラムⅠ：achri(アークリ)インスタレーション

開催場所：仙台市市民活動サポートセンターシアター

対象者：美術関係者・市民・行政関係者

仙台でのゲストディレクター制度による初の企画でありNPO(せんだい・みやぎNPOセンター)が仙台市より管理委託する施設でのプログラムをタ イアップ事業としてSENDAlcompleXが企画実施した。

プログラムⅡ：achri(アークリ)DJ / VJ ライブ

開催場所：仙台市市民活動サポートセンターシアター

対象者：美術関係者・市民・行政関係者

音楽系(DJ)と美術系(VJ)とのコラボレーション企画など普段訪れたことのない公共空間に多くの若い人が訪れる機会を創ることができた。

プログラムⅢ：achri(アークリ)アート学生こたつ会議

開催場所：仙台市市民活動サポートセンターシアター

対象者：大学生・文化政策関係者・NPO 関係者

仙台的国立や私立の大学生有志で創るARS(アルス)のメンバーとこれからのアートなどをこたつを囲みながら語り合った。
学生は美術系以外の学生も多いが交流も含め次世代の人材育成にも繋がる企画となった。



特定非営利活動法人

DANCE BOX

DANCE BOX

代表者：大谷 煥

住所：533-0033 大阪市東淀川区東中島 4-4-4 もと東淀川勤労者センター

Tel：06 6990 7290 Fax：06 6990 7291

E-mail：mail@db-dancebox.org

URL：http://www.db-dancebox.org

運営施設：Studio dB(100～120 人収容)

活動趣旨

現代社会において、身体感覚の欠如、コミュニケーションの不足等が、引きこもりやスートーカー、自己中心的で短絡的な犯罪などさまざまな社会問題を引き起こしています。情報のグローバル化が進む一方で、身体はむしろ閉じられた世界に押し込められてきました。

ダンスには、身体感覚をみがき、感性を育み、創造力や想像力、表現力を養う力があります。また、言葉を媒介としないコミュニケーションは、自分と他者、あるいは自然との新鮮な関係性を発見することに繋がります。身体を通じて他者を感じることは、相互の生命の存在に気づくことであり、それは豊かな社会の根幹を形成します。また、ダンスが他の芸術ジャンルと比べて、国際的な展開が可能なもの、その特性によります。

私たちは、ダンス芸術の「自己表現の力」、「コミュニケーションを創る力」、「国際性」を現代社会に活かし、市民がより豊かな生活を享受できる環境をつくること、またダンスを通じて豊かな感性を持つ子供の育成、および人と自然が共生できる文化的なまちづくりの推進を図ることを目的とします。そのために 私たちは、スタジオの運営やダンス公演およびワークショップの企画制作、ダンスに関するさまざまな情報の収集・発信等の芸術文化振興事業を通じて創造環境を整備し、優れたアーティストや作品を育成して、一般市民や子供たちがダンスに触れることのできる機会を数多くつくることを目指します。また、Asia Contemporary Dance Festival等の国際的なフェスティバルの開催により、国際交流を推進します。一方、地域住民に対して、ダンス公演への招待、参加型のイベントの開催を実現し、芸術と地域社会の新しい関係づくりを推進したいと考えています。

活動内容

プログラム1：Dance Circus&DANCE BOX Selection

開催場所：未定

対象者：評価の定まっていないダンスアーティスト

新しい身体表現をめざす新進アーティストのための登竜門プログラム。1日5組のアーティストが12分の作品を発表。年4回開催。

プログラム2：dB Physical arts Festival 大阪 BABA

開催場所：未定

対象者：dB で厳選したコンテンポラリーダンス、演劇、

フィジカルシアターのアーティストによるフェスティバルダンス、演劇、フィジカルシアター等、ジャンルを越えたプログラムを実施することで、アーティスト及び、観客間の交流を促進するとともに、現在最も輝いているアーティストの作品を提供する機会になる。

プログラム3：循環プロジェクト

開催場所：Studio dB 等

対象者：舞台表現をめざす障害のある人、ない人

このプロジェクトでは3人のアーティスト(ダンス、音楽、美術)をナビゲーターとして、参加者が相互に交わりつつ、既存の概念を越えた新しい舞台芸術を生み出すことをめざします。芸術体験というレベルを超えた、本格的な創造活動に取り組み、障がいのある人だからこそ成しえる舞台作品を発表します。



特定非営利活動法人

地域文化に関する情報とプロジェクト[recip]

NPO [recip] regional culture information and projects

代表者：青木敦子

住所：540-0026 大阪市中央区内本町 1-2-7 寿ビル 2 階 D 号

Tel & Fax：06 6941 4899

E-mail：info@recip.jp

URL：http://www.recip.jp/

運営施設：大阪府立現代美術センター(有限会社クリーンブラザーズとの協働による運営)

大阪府現代美術センター

活動趣旨

「文化の地産地消」を実現するために、私たちはネットワークづくりを大切にしています。

企業、行政、教育、NPO、アーティスト、ディレクター、キュレーター、デザイナー、ジャーナリスト、ライター、研究者など地域で活動するさまざまな専門家と、意志を同じくする社会人や学生との信頼関係を基盤としたネットワークを通して、異なる立場の人々が出会い協働するプロジェクトの企画運営、カタチにとらわれない情報メディアの企画制作、都市問題の文化的ソリューションをめざす実践的研究を行っています。

「地産地消」とは、1980年代以降世界的に広がっている「食」をめぐる社会運動の中で使われるようになった言葉で、地域で生産したものをその地域で消費することを意味します。私たちは、この「地産地消」が文化の領域にも必要であると考えます。文化を狭義の芸術、芸能だけでなく、各地域に根ざした言語、思想、生活様式に至るさまざまな表現形態の総体と定義するならば、文化はそれぞれの地域で多様かつ豊かに育まれるべきものであり、安易なグローバル化を拒むものと言えるでしょう。そのような地域文化は、人々のつながりや結びつきをも多様で豊かなものにします。

recipは地域文化の活性化をとおして、地域に住む人々が共感・信頼に基づくネットワークを育み、その中で何を継承し、何を未来へ伝えていくべきかを共に考え、行動することのできる土壌づくりを目指しています。

活動内容

プログラム1：コネクタテレビ

「アート・文化に興味のある人が自分でつくるテレビ番組」として2004年10月にケーブルテレビにて放送開始、2007年10月末までに75本の番組が制作・放送されました。番組では、地域におけるアートや文化の活動などを直接的/間接的に行い、それら諸活動を多くの人に「知らせたい」「伝えたい」という学生、社会人、アーティストなど様々な立場の人からの番組企画の持ち込みを受け入れています。これまでの番組のうち約1/3が持ち込み企画により完成したものです。

プログラム2：フリーペーパー 季刊 plug (プラグ)

発行：大阪府立現代美術センター /
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

企画・制作：NPOrecip

関西での最新のアートの動きや文化情報を独自の視点で紹介する、文化の地産地消サイクル駆動マガジン。季刊にて各30,000部発行。官(大阪府)・学(大阪大学)・民(NPO)の三者協働により、日常生活に新たな視点を加えるような特集記事やコラムなどを掲載。現代美術・アートが、社会の様々なシーンで意義ある活動となることを踏まえた情報発信を行っています。

プログラム3：log osaka webmagazine

(ログ・オオサカ・ウェブマガジン)

URL：http://www.log-osaka.jp/

“文化”という切り口から、新しい関西・大阪を発見するウェブマガジンとして、2002年より大阪より発信。あらゆる小さな活動や、広く知られている人物についても“文化”として等価に捉え、log osakaとしての評価軸をもって紹介しています。また読者はもちろん、取材や企画などを通じて繋がったネットワークは共通の重要な財産であり、そこから広がる豊かな可能性を大切にしています。

特定非営利活動法人

トリトン・アーツ・ネットワーク

NPO Triton Arts Network

代表者：加茂文治

住所：104-6005 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアX棟 5F

Tel：03 3532 5701 Fax：03 3532 5703

E-mail：info@triton-arts.net

URL：http://www.triton-arts.net

運営施設：第一生命ホール（767 名収容音楽専用ホール）及びホール近隣地域

SQW コンサートよりボロメオ・ストリング・クアルテット
© 大窪道治

活動趣旨

トリトン・アーツ・ネットワーク（以下TAN）は2001年4月に東京都より認証を受け、同年11月に開館した第一生命ホールを拠点にホールの内外で様々なスタイルのコンサートを企画立案、実施しているNPOです。

主な活動は第一生命ホールの公演制作、およびホール周辺地域での音楽公演（コミュニティ活動）の企画と実施です。第一生命ホールでのコンサートシリーズは、主に二つのシリーズから成り立っています。一つはクアルテット（弦楽四重奏）の定期的なシリーズ。もう一つは、人生の様々なステージでクラシック音楽の素晴らしさを知り、身近に接して頂きたいという願いをこめておくりするライフサイクルコンサートです。

また、コミュニティ活動では演奏家が学校、病院、福祉施設へクラシック音楽をお届けするアウトリーチ活動を行っています。

TANでは「音楽がつなぐ人々の輪を広げる」ことをモットーにしています。人々と音楽との出会いが幸福なものとなるような公演を企画します。一方、ホールがある中央区、その地域と文化が育めるよう、音楽を通じて地域社会に貢献できる活動に今後も積極的に取り組んでゆきます。

活動内容

プログラムⅠ：ライフサイクルコンサートシリーズ 育児支援コンサート

開催場所：第一生命ホール

対象者：一般（親子を対象にした）

全ての人々にクラシック音楽との素晴らしい出会いとなるように願って行っているライフサイクルコンサートシリーズ。TANでは、第一生命ホールを拠点にしてホール開館時から年間数回で開催しています。育児支援コンサートは子育て中の親御さんとそのお子さんが気軽に楽しんでいただける本格的なクラシックコンサートです。2部構成とし、前半は小学生以上の方はホールで、幼稚園年齢のお子さんは音楽スタジオでそれぞれに音楽を楽しみます。後半はホールで揃ってコンサートを聴きます。3歳までの小さなお子さんがいらっしゃる方には事前予約の無料託児サービスも完備しています。

プログラム2：ライフサイクルコンサートシリーズ はじめのいっぽ

開催場所：第一生命ホール

対象者：一般

2007年度より新たにライフサイクルコンサートとして始まった平日昼間の1時間のコンサートははじめのいっぽ。これは各回一つの楽器に注目し、クラシックの名曲を中心におおくりしています。気軽にホールに来て頂くために、コンサートの時間を1時間と短めに抑え（通常は2時間が平均）チケット料金も1,000円台にしてあります。これまで国内外で活躍しているアーティストに出演していただいております、今年度は8回の公演を予定しています。

プログラム3：SQW

開催場所等：第一生命ホール

対象者：一般

TANの芸術活動の中核となるシリーズです。国内外の若手から中堅クラスの弦楽四重奏団を定期的に、かつ集中的に紹介しています。

特定非営利活動法人

福岡パフォーミングアーツプロジェクト (FPAP)

FPAP

住所：812-0038 福岡市博多区祇園 8-3 ぼんプラザホール

Tel：092 262 5027 Fax：092 262 5047

E-mail：info@fpap.jp

URL：http://www.fpap.jp/

運営施設：ぼんプラザホール（108 人収容）

ゆめアール大橋音楽・演劇練習場（10人収容×3部屋、60人・290人収容各1部屋）

活動趣旨

FPAP（エフパップ）は、福岡の演劇等舞台芸術文化振興のため、地元の演劇人を中心に、平成15年10月設立。翌年2月NPO法人として認証。

ミッションは、福岡・九州演劇等舞台芸術文化活性化および振興に関する活動を行い、以て広く公益に貢献すること。指定管理者として、ぼんプラザホール・ゆめアール大橋音楽演劇練習場の運営をしながら、地域舞台芸術振興のため各種ワークショップ、セミナー、舞台公演などを実施している。

活動内容

プログラムⅠ：大学演劇部合同公演

開催場所：ぼんプラザホール

対象者：福岡地域の大学演劇部

福岡地域の大学演劇部の合同公演。大学演劇部の表現能力の向上をねらうとともに、演劇製作の過程を通して大学演劇部間の交流を促進し、大学演劇部の才能を出会わせることにより、中長期（5～10年後）での福岡の地域演劇シーンを支える人材や劇団のシーズを発掘・育成することを目的として事業を行いました。

プログラム2：初心者のための制作実務講座

開催場所：ぼんプラザホール、市民会館会議室

対象者：舞台芸術制作初心者

地域劇団の制作者として全国的な活動実績のある谷瀬末紀氏を講師に迎えて開催しました。舞台芸術団体の公演に必要な制作実務、制作者に必要な事務を具体的かつ網羅的に講義しました。制作概論から始まり、芝居をやるのが決まって終わるまでを実際の時系列に沿いながら集中講義しました。

プログラム3：小松杏里の演出家のためのワークショップ

開催場所：ゆめアール大橋、大野城まどかびあ、市民会館練習室

対象者：福岡地域で活動する舞台芸術演出家

地域の演出家を養成していくためのワークショップです。演出担当1名・役者担当5名のユニット単位で応募しました。事前に課題脚本の解釈、演出意図の検討、演出プランの立案までを提出してもらって、それに沿って公演に向けた練習をしてもらいました。実際の練習に講師が立ち会い、演出家養成の視点からアドバイスをおこないました。

特定非営利活動法人

BEPPU PROJECT

NPO BEPPU PROJECT

代表者：山出淳也

住所：874-0918 大分県別府市汐見町 9-I 観光港第3埠頭ターミナル2F みなとパレット

Tel：0977 22 3560 Fax：0977 22 3560

E-mail：info@beppuproject.com

URL：http://www.beppuproject.com

活動趣旨

NPO法人BEPPU PROJECTは、大分県別府市を活動拠点として、現代芸術鑑賞機会の充実、文化活動を通じた人材育成、外部との交流人口の増加を目的とするアートNPOで、2005年4月から活動を続けています。

これまでに、全国アートNPOフォーラムの開催や創造都市をテーマとする国際シンポジウム、複数回の現代美術展やコンテンポラリーダンス公演、公立小・中学校に芸術家を派遣する事業、エッセイによる散策ガイドブック出版や、路地名プレート設置、リノベーション事業など多種多様な文化事業を展開しています。

また、地域内外の様々なNPOと協同して、社会起業家育成支援基盤の立ち上げや、職業訓練学校でのコミュニティビジネス型起業プログラム作りなどによって、地域における新たな雇用開拓・開発も進めています。

私たちは、2009年4月～6月中旬にかけて、大分県としては初めての大型国際現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」の開催を目指しています。

このフェスティバルは、単独主催の事業としてではなく、地域のまちづくり団体や、国内の様々なNPOなどとの協働事業として展開していきたいと考えています。自らの意思によって、地域やジャンルを越えて協働し、より豊かな市民社会の創出を目指し、このフェスティバルは開催されます。

私たちBEPPU PROJECTは、様々な人々や芸術活動が美的に融合する機会や必然をつくり、子供達が夢を持って生き生きと育っていくための環境や、ツーリズムの新たな在り方を提示することによって、地域の魅力を生かしたまちの再生を目指しています。

活動内容

プログラムⅠ：世界の温泉文化創造都市を目指して

ー別府市中心市街地活性化国際シンポジウムー

開催場所：別府国際観光港第3埠頭ターミナル 2F

みなとパレット、竹瓦温泉、中心市街地一帯

世界的な都市計画者や専門家を海外から招聘し開催する国際シンポジウム。現代におけるアートや文化活動が、いかに地域や市民に対して影響を与え、活力の源となり経済効果を生むのかというパネリストによる講演と、創造的ディスカッションを通して、このまちの未来を考える。

パネリスト：チャールズ・ランドリー（都市プランナー、コメディア代表 / イギリス）
ジャン＝ルイ・ボナン（ナント市文化顧問 / フランス）
浜田博（別府市長）
山出淳也（NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事）

モデレーター：吉本光宏（ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長）

地域資源 WS コーディネーター：姫野由香（大分大学工学部助教 / 福祉科学研究センター福祉のまちおこし研究チーム）

プログラムⅡ：アート・フェスティバル・レポート2007

開催場所：B-Con PLAZA

国内の先駆的な文化団体で特に大型フェスティバルを開催している4団体による、大型文化フェスティバルにおけるボランティアの様々な角度からの考察や報告のシンポジウム。

パネリスト：伊藤京子（別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー）
北川フラム（大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 総合ディレクター）

熊倉純子（取手アートプロジェクト）

立木祥一郎（NPO 法人 harappa 理事 / AtoZ 展開催実行委員会）

モデレーター：荻原康子（社団法人 企業メセナ協議会
シニアプログラムオフィサー）

特定非営利活動法人

前島アートセンター

Maejima Art Center

代表者：亀島良泉

住所：900-0016 沖縄県那覇市前島 3-17-I 2F

Tel & Fax：098 885 9371

おきなわ時間美術館：902-0067 沖縄県那覇市安里 385 番地栄町市場内

E-mail：macinfo@maejimaac.net

URL：http://maejimaac.net

運営施設：前島アートセンター

活動趣旨

前島アートセンター（MAC）は、前島3丁目の旧高砂殿ビルを、民間主導の新しい芸術・文化活動の拠点に作り変えようという趣旨のもと、活動してきました。2007年1月で同ビルでの活動は終了。

2007年10月より栄町市場内に新スペース「おきなわ時間美術館」を設立。沖縄での新しい文化の発信地として一步一步活動を展開しています。

MACの運営は、その活動趣旨に賛同していただける一般会員、維持会員の皆様の会費でまかなわれます。多くの方々のご協力をお待ちしています。

活動内容

プログラムⅠ：おきなわ時間美術館

開催場所：沖縄県那覇市 栄町市場内

対象者：アーティスト、一般

沖縄県立博物館・美術館のオープンに合わせ、「おきなわ時間美術館」が那覇市栄町市場を中心に10日間オープン。

開館時間は夕方から夜中まで、というこの美術館では「見る」「考える」「味わう」「体を動かす」まで、楽しさと驚きにあふれたプログラムを開催。NPO法人アーツイニシアティブ トウキョウとの共同事業として行った。プログラム終了後も、前島アートセンターの新スペースとして継続中。

前橋芸術週間

Maebashi Festival of Arts

代表者：小見純一

住所：371-0036 群馬県前橋市敷島町 240-41 F-ritz art center 内

Tel：027 235 8989 Fax：027 235 8990

E-mail：omi@f-ritz.jp

URL：http://www.f-ritz.jp/

活動趣旨

前橋市を中心に様々な芸術文化や街づくり活動に参加する市民が、地域におけるコミュニケーションの再生を目的に1985年から活動を始める。1998年、前橋中心市街地の空き店舗を改装、ギャラリー・事務所・レジデンス機能を備えた「空想現代美術館IMOCA」を開設、これを機に組織化。企画および団体名として「前橋芸術週間」と名付ける。

「社会の芸術化・芸術の社会化」をコンセプトに、様々な芸術的な行為を広く紹介。

市民の中に新たな想像力、関係性、価値観が生まれるきっかけの一助となることを願い、事業を企画、運営。事業分野は、美術・演劇・ダンス・音楽・映画・障害者芸術と多岐にわたり、その都度そのプロジェクトに興味ある市民が新たなボランティアとして参加している。2008年にはNPO法人化を予定している。

活動内容

1：地域における様々なアート・プロジェクトの企画運営

2：地域におけるワークショップ、レクチャー等による

教育普及活動

3：地域における活動拠点整備に資する活動

4：地域におけるアートを核とした相互交流を

誘発・促進する事業

活動内容

プログラム1：「踊りに行くぜ!!」in 前橋 2007

開催場所：旧麻屋デパート 路上・1階・2階・3階・屋上

JCDN(ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク)の全国パフォーマンススペース間のダンス巡回プロジェクト in 前橋。2001年からの参加で今回が6度目の開催となる。毎回場所を変えての開催が話題を呼んでいるが、今年は2006年に「第3回全国アートNPOフォーラム in 前橋」によって永年の空きビルから再生された「旧麻屋デパート」が、国の登録有形文化財指定になった事を祝っての開催となった。

開催日時：2007年10月27日(土)・10月28日(日)

出演：坂本公成 + Monochrome Circus、砂連尾理、
前橋芸術週間 ダンス部、山口佳子、山田知美

プログラム2：前橋アート・コンペ・ライブ 2007

開催場所：前橋中心商店街 国際交流広場

1995年の「日本文化デザイン会議・群馬」の開催をきっかけに始められた公開審査型アートコンペティション。今回が11回目の開催となる。多くのコンペが生まれてはなくなってきたが、今や最古参の若手アーティストの登竜門になりつつある。MoMAへの所蔵や世界的に活躍するアーティストを数多く輩出。毎年一次審査には全国から300作品近くの応募があり、特に最終審査におけるアーティストと審査員とのトークバトルはアートの同時代性を如実に現す希有な空間となっている。

審査員(2007年度)：伊東順二、隈研吾、八谷和彦

**プログラム3：トヨタ・子どもとアーティストの出会い
in ぐんま**

開催場所：前橋市立中川小学校、

前橋市立滝窪小学校 金丸分校

対象者：小・中学生

「子どもが、アーティストの出会いを通じて多様な価値観と豊かな感性を育むこと」を目的に、トヨタ自動車が2004年に創設した社会貢献プログラム。トヨタと連携し前橋芸術週間が主体となって地域実行委員会を組織し、先生や地域の方と協力しながら授業時間等を活用して、子どもを対象としたワークショップを実施。初年度のぐんまでは、前橋市から2校が選ばれ、世界的なコンテンポラリー・ダンサーの伊藤キムさんと、絵本作家の荒井良二さんが学校を訪れ、滞在しながらワークショップを実施した。

特定非営利活動法人

みやぎダンス

代表者：定行俊彰

住所：980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 8-10 京成巷番町ビル 902号

Tel & Fax：022 707 4141

E-mail：office@miyadan.org

URL：http://www.miyadan.org/

活動趣旨

私たちは障害の有無を越え「ダンスのバリアフリー化」そして「ユニバーサルデザインとしてのダンス」を積極的に社会に広げていくことを目指して、2005年4月NPO法人みやぎダンスとして新たにスタートしました。

世の中には、幾多の壁が存在します。障害のある人と無い人の間に横たわる壁もそのひとつです。

この壁は徐々に崩れ、社会の意識も変化を遂げてきています。しかし、舞台芸術やダンスでは、まだまだその壁が厳然としてあります。その「壁」を切り崩すこと、これが私たちの使命と考えています。

活動内容

プログラム1：「Keep On」再演

開催場所：2007年8月名取市文化会館

対象者：みやぎダンス・カンパニー参加者が出演

名取市文化会館より出演依頼。名取市文化会館主催イベント「なとりパフォーマンスフェスティバルなっ祭」にて、「Keep On」を公演。

プログラム2：みやぎダンス公演 Inclusive Dance vol.5

開催場所：2008年2月せんだいメディアテーク・

オープンスクエア

対象者：障害の有無に関係なくダンスの舞台作品に

参加してみたい挑戦してみたい意欲のある方。

即興を主体としたダンスを展開。3作品を公演。それぞれ違う振付家が担当します。

■「みつつの想い」振付：加藤由美氏

■「灯る」振付・定行俊彰氏

■「ほんの少し…」振付・砂連尾理氏



ミュージアム・シティ・プロジェクト

Museum City Project

代表者：山野真悟

連絡先：812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル B2 ギャラリーアートリエ気付

Tel：092 282 0553 Fax：092 282 0553

E-mail：mcpfukuoka@gmail.com

URL：http://www.ne.jp/asahi/mcp/fukuoka/

運営施設：ギャラリーアートリエ

活動趣旨

ミュージアム・シティ・プロジェクト(MCP)は、「都市と美術の共生」をテーマにさまざまな研究、活動を行う非営利団体です。

MCPは行政、企業、美術関係者の三者によって構成される実行委員会によって運営されています。またMCPは1991年の「中国前衛美術家展[非常口]」に代表されるようなテーマを限定した展覧会の企画も不定期に実施しています。

その他私たちはパブリックアートに関する計画および実施、海外の作家やキュレーターとの交流事業、国内および地元アーティストのサポートシステムの整備、教育普及プログラム活動の充実などを目標としています。

活動内容

プログラムⅠ：ギャラリーアートリエ

(主催・財団法人福岡市文化芸術振興財団)の展覧会企画運営

開催場所：ギャラリーアートリエ

対象者：一般観衆

商業施設を訪れる一般観衆に向けて、福岡や九州各地を拠点に活動する同時代芸術家の作品紹介企画を実施。



遊工房アーツスペース

Youkobo Art Space

代表者：村田弘子、村田達彦(共同代表)

E-mail：167-0041 東京都杉並区善福寺 3-2-10

Tel：03 5930 5009 Fax：03 3399 7549

E-mail：info@youkobo.co.jp

URL：http://www.youkobo.co.jp/

運営施設：遊工房アーツスペース

活動趣旨

遊工房アーツスペースは、幅広い視野に立つ国際交流、異文化理解の「場(スペース)」を提供しています。展覧会、ワークショップ、講演会などの活動を通して、国内外のアーティスト相互や、地域の人々を含めた交流を、アーティスト・イン・レジデンス、ギャラリー、アーティスト・ラウンジを通し実現しています。特にアーティスト・イン・レジデンス・プログラムは、国内外のアーティストが、東京という魅力的な都市に滞在しながら活躍を広げる「機会」をつくと共に、多様な分野のアートを地域の人々が身近に触れる「機会」となっています。

また、アーティスト・ラウンジでは、滞在アーティストと展示アーティストとの積極的な交流の場となると共に、国内外のアーティスト・イン・レジデンスの最新資料や情報が検索出来る場として、自立したアーティストの活動の支援も行っています。

活動内容

プログラムⅠ：アーティスト・イン・レジデンス

開催場所：遊工房アーツスペース他

対象者：国内外の若手アーティスト(ジャンルは不問)

アーティスト自らの活動意図を大切にしたい最長6カ月の滞在が可能なレジデンス・プログラムです。自立したアーティストの活動への支援、地域とアートの交流を促進する地域に根ざした活動への参加など、遊工房アーツスペースの場、および関連活動グループとのコラボレーションなど協議しながら進めています。毎年、次年の活動提案を6月末日限で募集しています。

プログラムⅡ：ギャラリー展示

開催場所：遊工房アーツスペース・ギャラリー及びスタジオ他

対象者：国内外の若手アーティスト

現代美術を中心に、アーティスト自ら企画・計画・管理する展示の開催を主として展開しています。企画・計画・管理についてのノウ・ハウの支援とともに、必要経費をアーティスト自ら工夫出来るスライディング・スケース方式を導入しています。

プログラムⅢ：G.I.P. Global Internship Program

開催場所：遊工房アーツスペース他

対象者：海外若手アートマネージメント経験者

遊工房アーツスペース活動の実体験を通してアーティスト・イン・レジデンス・プログラムの実習、ギャラリー展示プログラムなどの体験・習得などを1年間のプログラムとして行います。さらに、海外でのアートマネージメント経験者の視点を通じた改善への取組も意図し、遊工房Internationalの実現を目指しています。



芸術文化地域活動

「楽の会」

RAKUNO-KAI

代表者：清水永子

住所：131-0046 東京都墨田区京島 1-39-1-1018

Tel & Fax：03 3614 1351

E-mail：nagako.s@alpha.ocn.ne.jp

© 曾我高明

活動趣旨

「楽の会」は、1992年、市民による芸術文化の振興と普及を目的として設立。

常に独創的な公演を開催し、好評を博してきました。2002年からは身近なアート活動をサポートする「庭先見世物プロジェクト」を開始。その一環としてアサヒ・アート・フェスティバルにおいて水上アートバス「ダンスパフォーマンス！」を開催しています（2002年～2007年、2005年は除く）。

さらに2005年には横浜トリエンナーレにおいても「ナカニワ・ダンスパフォーマンス」を実施するなど、設立時より先駆的、実験的な活動を展開しています。

活動内容

プログラムⅠ：アサヒ・アート・フェスティバル 2007

水上アートバス「ダンスパフォーマンス！」

開催場所：隅田川ライン 観光定期便船上

7月7日（土）森下真樹＋石渡真理（ボディーペインティング）

8月4日（土）伊藤キム×神田京子（講談師）

対象者：乗船客（主に観光客）

2002年から継続されているアサヒ・アート・フェスティバルの一環として開催している。隅田川を行き交う観光定期便、通常の閉ざされた劇場空間とは違う開放的な船上で、何も知らないで乗船した観光客にアート（ダンスパフォーマンス）と遭遇してもらう。アートに偶然出会うことで普段アートに無縁な人にアートの楽しさ、おもしろさ、さまざまな表現の可能性を知ってもらう、きっかけ（入口）となり記憶の片隅に残ればと思う。特に2007年においては通常の船内観光アナウンスに替え伊藤キムさん書きおろしの隅田川妖怪物語を講談師の神田京子さんに語ってもらい踊るという趣向で乗船客におおいに受けた。また森下真樹さんもダンスだけでなくペインティングというカラフルで見た目に楽しさの伝わるコラボレーションで特に子供たちに受けていた。



社団法人

企業メセナ協議会

Association for Corporate Support of the Arts

代表者：福原義春〔会長〕、福地茂雄〔理事長〕

住所：100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 8 番 2 号第一鉄鋼ビル 1 階

Tel：03 3213 3397 Fax：03 3215 6222

E-mail：mecenat@mecenat.or.jp

URL：http://www.mecenat.or.jp/ 企業メセナ協議会ホームページ

http://www.mecenavi.info/ メセナ活動データベース「メセナビ」

撮影：藤牧徹也

活動趣旨

ものの豊かさを実現した今日、人々は心の豊かさを求めており、これからの日本には経済と文化の調和がとれた国づくりが望まれます。近年、企業も社会を構成する一員として、その行動がおよぼす影響力の大きさを自覚し、環境や福祉といった諸課題に向き合い、社会貢献活動に積極的に取り組むようになりました。そして、こうした活動の一環として、芸術文化を支援する「メセナ」に取り組む企業も増えています。

芸術文化は時代を映す鏡であり、社会の発展を促す「革新性」や「創造力」を持っています。企業にとって、地域文化の振興や新たな価値を生み出す芸術活動への支援は、未来の日本社会への重要な投資であり、将来にわたって自社の安定的な発展を促すための必要な活動であるともいえます。また、企業の総合的なブランド力が問われるようになった昨今、革新性に満ち、柔軟な発想と豊かな感性にあふれた芸術活動との接点を持つことは、自社の事業革新をはかるうえで、企業にとって大きな糧となることでしょう。さらに、日々のメセナ活動を通して社会とのコミュニケーションを深めることで、社内の価値構造が多元化し、質の高い企業運営が期待されます。

こうしたことから、今後、真に豊かな社会の実現のために、企業によるメセナ活動の重要性はますます高まっていくものと思われます。企業メセナ協議会は、メセナのいっそうの啓発・普及をはかるとともに、芸術文化と企業、行政、NPOなど社会のさまざまなセクターを結ぶ仲介役としての役割を発揮すべく、これからも努力を続けてまいります。

活動内容

プログラムⅠ：啓発・普及

企業メセナ担当者、芸術文化団体、NPO、文化行政担当官、研究者ほか、芸術文化をとりまく諸問題に関心のある方を対象に、セミナーやシンポジウムを開催している。2007年度は、支援要請におけるコミュニケーションのポイントを探る「企業メセナへのアプローチセミナー」ほか実施。

プログラムⅡ：調査・研究

日本における企業メセナの動向を探る「メセナ活動実態調査」を継続的に実施。また、企業メセナおよび芸術文化の基盤整備に関わる研究活動を行っており、2007年度は「日本の芸術文化振興について、10の提言」を発表。あわせて提言発表会、政策提案活動、文化政策フォーラムを開催した。

プログラムⅢ：情報集配

企業メセナをはじめアートサポートやアートマネジメントに関する幅広い情報を、機関誌「メセナnote」、ウェブサイト等で提供している。また、事務所内の情報ライブラリーにて、企業および芸術文化に関する書籍・資料を公開。

プログラムⅣ：顕彰「メセナ アワード」

企業や企業財団による優れたメセナ活動を顕彰。「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなり、これまでの17回で約140件の活動を表彰。全国から創意工夫に満ちた取り組みが寄せられ、2007年度は応募総数142件から、「資生堂ギャラリーの運営」がメセナ大賞を受賞。

プログラムⅤ：国際交流

世界各国のメセナ組織および文化機関と情報交換している。2007年度は英・仏・伊・韓などから来訪があった。国際メセナネットワーク会議（ロンドン）出席。

プログラムⅥ：助成「助成認定制度」

1994年より、芸術文化活動に対して企業や個人が協議会経由で寄付を行うと税制上の優遇措置が受けられる制度を設けて運営。芸術文化への民間からの寄付の促進をはかっている。年6回、芸術文化活動の申請を受け付けており、毎年200件前後を認定。